

お知らせコーナー

高齢者・障害者のための無料法律相談

相続、遺言、権利侵害、その他トラブルなど、法的な問題について弁護士が無料で相談に応じます。
【日時】 1月25日(水) 2月22日(水) 3月22日(水)
いずれも午前10時～正午

成年後見専門相談

成年後見制度や任意後見制度について専門家が無料で相談に応じます。
【日時】 1月11日(水) 2月8日(水) 3月8日(水)
(弁護士) (弁護士) (司法書士)
いずれも午後1時30分～3時30分

*上記、高齢者・障害者のための無料法律相談及び成年後見専門相談は、事前に電話で相談内容を確認の上、予約を受け付けます。定員になり次第締め切ります。
【開催場所・問合せ・申込み】 清瀬市コミュニティプラザひまわり(2F) きよせ権利擁護センター ☎042-495-5573

生活支援 訪問支援者 基礎研修

掃除や調理など、家事支援が必要なご家庭の、サービスの担い手を育成するための研修です。*東京都委託事業 3日間の研修です。
【日時・内容】
〈第1回〉1月16日(月) ①事業の意義と目的 ②守秘義務 ③児童虐待の予防 ④地域の子育て支援
〈第2回〉1月23日(月) ⑤傾聴とコミュニケーション ⑥訪問支援の実際
〈第3回〉1月31日(火) ⑦事例検討 ⑧家事支援・調理実習
いずれも午前9時30分～午後2時30分
【場 所】 コミュニティプラザひまわり
【参加費】 500円(テキスト代など)
【問合せ・申込み】 特定非営利活動法人 ウイズアイ ☎090-3773-9765
Eメール withaiyui@gmail.com
*お申込みの際は、お名前、ご住所、電話番号、受講理由、保育の有無をご記入ください。

災害ボランティアセミナー 風水害への備え ～東京マイタイムラインをつくらう～

近年はどこの地域でも、風水害による被害の危険性が高まっています。東京都が発行している「東京マイタイムライン」の作成を通じ、災害時に求められる避難行動と災害時のたすけあいについて学ぶセミナーです。
【日 時】 2月27日(月) 午後2時～4時
【場 所】 きよせボランティア・市民活動センター
【定 員】 16名(事前申し込み制)
【問合せ・申込み】 電話または右記申込みフォームから
きよせボランティア・市民活動センター ☎042-491-9027

講座 わたしにもできる子ども食堂のつくり方

子ども食堂をはじめたい方向けの講座です。子ども食堂運営者と一緒に活動の疑問を解消し、運営のノウハウなどを学びます。
【日 時】 1月28日(土) 午前10時～午後4時
①午前の部 午前10時～正午
②午後の部 午後1時～4時
【場 所】 清瀬けやきホール セミナーハウス
【講 師】 福本麻紀 氏(おひさまネットワーク)
黒田一美 氏(NPO法人ウイズアイ)
【内 容】 ・子ども食堂実施のコツ
・上手にほめて、伝える子どもとのコミュニケーションのコツ
【問合せ・申込み】 電話または右記申込みフォームから
きよせボランティア・市民活動センター ☎042-491-9027
*2月4日(土)午後2時～3時30分にフォロー講座も開催予定です。

切手整理サロン

使用済みの切手には価値があり、整理したものを業者に売却し、その収益金は清瀬の福祉事業に活かされます。そのために使用済み切手を仕分け・整理するボランティアを行います。誰にでもできる簡単な作業です。サロンへの出入りも自由ですので、気軽にご参加ください。*開催場所は「おおぞら」になります。
【日 時】 1月13日・2月10日・3月10日
いずれも第2金曜日 午後2時～3時30分
【場 所】 清瀬市障害者福祉センターおおぞら 2階
【問合せ】 きよせボランティア・市民活動センター ☎042-491-9027

市民表彰を受賞されました

ボランティア・市民活動で、長年にわたり地域で貢献いただいているグループが、10月に表彰を受けられました。日頃の活躍に感謝するとともにお祝い申し上げます。(敬称略・順不同)

- きよせ猫耳の会 (地域猫活動や猫の適正飼育の啓発)
- けやきロードギャラリーさきいにし隊 (けやき通りの彫刻と歩道の清掃)

手のことば

正月



「手話」は、手を使って話す「手のことば」です。手の形や動きだけでなく、顔の表情やしぐさなどによって、様々な意味を表す聴覚障害者にとって大切なコミュニケーション方法の一つです。手首を外側から内側へ軽くひねる。

たまてばこ

このコーナーでは健康や福祉、ちょっとした生活のお役立ち情報などを幅広く紹介していきます。



手を合わせる

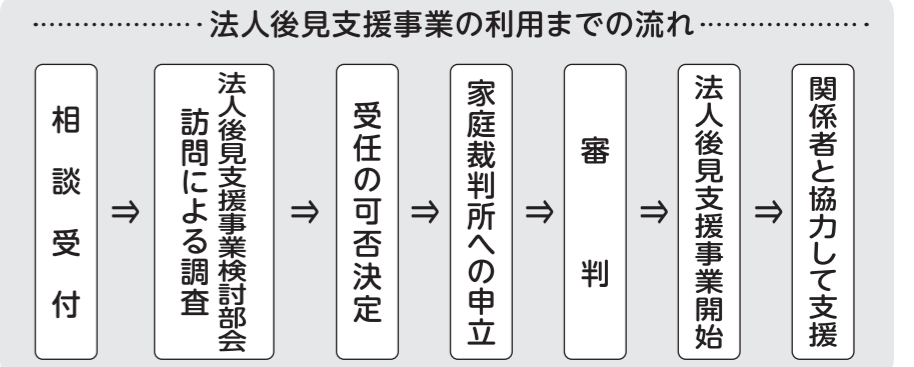
お正月、初詣へ行かれたか。両手を合わせて何を思いましたか。右と左の手のひらと指を合わせることを合掌(がっしょう)と言います。仏教では、右手は清浄の手として仏様の世界(極楽浄土)を、左手は不浄の手として人間の世界(現世)を意味しており、両手を合わせることで仏様の世界と現世が一体になれるようにという意味がこめられています。合掌はご先祖様や仏様を拝む時の作法の一つです。神社などで合掌するのも、本来は日頃の感謝や尊敬の気持ちを表すものです。お葬式のときに合掌するのは、故人へ「お疲れ様でした」「ありがとう」といったお別れの気持ちで合掌することが多いと思いますが、仏様に「故人のことをよろしくお願いたします」という成仏を願う意味があります。合掌は、日常生活のあちこちで意味など考えず何気なく行われています。例えば「いただきます」「ごちそうさまでした」。それは食事を作ってくれた人へ、食材を育ててくれた人へ、食材となった植物や動物への感謝の合掌です。

す。例えば、「ごめんなさい」「お願い」といったお詫びや懇願する時には、仏様を拝む位の気持ちで心を込めてという意味ではないでしょうか。例えば、手紙の末文に「合掌」と書くことがありますが、これも相手への尊敬の意味を込めており、手を合わせるのと同じ意味で使われます。合掌すると両手のひらはふさがれてしまいますから、相手に敵対する意思がないことを示せます。日常生活の中で何気なく行っている合掌という所作には、「感謝」や「敬意」があふれています。

手を合わせれば 憎む心もけてゆき 離れた心も結ばれる
まあるいおむすび まあるいもち
両手合わせて作ったものは 人の心をまるくする
両手合わせて拝んでいこう
…坂村真民氏の「手を合わせる」という詩の一節です。

ご案内 法人後見はじめました!

清瀬市社会福祉協議会では、昨年4月から法人後見支援事業を開始しました。法人後見支援事業は、他の法定後見制度と同様に後見人等は、ご本人に代わって契約したり、不利益な契約を取り消したりすることができるようになります。この度、当社会福祉協議会は法人として後見人等を受任し、そのうえで関係者と協力しながらご本人の生活に適した支援を行ってまいります。法人後見支援事業の利用には、一定の条件がありますので、詳しくは右記までお問い合わせください。



*清瀬市社会福祉協議会が法人で後見人等になるためには、一定の条件があり、外部委員で構成される法人後見支援事業検討部会の意見を踏まえ、受任の可否を決めることとなります。

【お問い合わせ】 清瀬市コミュニティプラザ(2F) きよせ権利擁護センター ☎042-495-5573

募金プロジェクト 募金百貨店

「募金百貨店プロジェクト」は、商店や事業所の皆様に寄付つき商品・企画を販売していただき、無理なく募金運動に参加していただくというプロジェクトです。
「商店・事業所等」「購入者(地域)」「共同募金」のすべてにメリットがあるWIN×WIN×WINな取り組みです。
plume dolce https://plumedolce.base.shop/p/00006
～想い灯そう～
Candle de SDGs プロジェクト
スイーツキャンドルが1つ売れるたびに10円の寄付
◆会社概要◆
営業時間:24時間 インターネットショップ

地域福祉フォーラム「思いが循環する やさしい清瀬」を実施しました

12月20日(火)に清瀬けやきホールにて、地域福祉フォーラムを実施いたしました。会場、オンラインともに多くの方のご参加をいただきました。日本社会事業大学菱沼幹男准教授による基調講演では、地域で支え合うことの重要性とこれからの地域福祉の在り方についてお話いただきました。また、第4次清瀬市民地域福祉活動計画策定委員会副委員長の赤川都氏より、活動計画策定のプロセスの説明と計画が目指す方向性について、説明いただきました。そして、後半のシンポジウムでは、4つの事例紹介がありました。
○子育て支援・若者支援に取り組み特定非営利活動法人ウイズアイ
○施設利用者とともに取り組む清瀬育成園ひだまりのきよせ「オタスケ君」の紹介
○小学校区を単位とした地域づくりに取り組む地域づくりの会ひまわり105の取り組み
○地域と社協がともに取り組む「募金百貨店プロジェクト」と子どもの食サポート事業
このフォーラムの内容を多くの方に知っていただき、「思いが循環する やさしい清瀬～自分のために が ひとのために～」を目指して、一緒に地域福祉を進めていきましょう。
□アーカイブ配信のお知らせ□
1月4日～1月31日に当日の様子をアーカイブ配信いたします。視聴方法など詳しくは、社協ホームページ、Facebookをご覧ください。

「知る・ふれあう 保護犬保護猫フェア」を開催しました!

11月5日(土) きよせボランティア・市民活動センターは、NPO法人いぬねこプロジェクト(わんだん邸)ときよせ猫耳の会との協働で「知る・ふれあう きよせ保護犬保護猫フェア」を開催しました。譲渡会、犬のしつけ相談、パネル展、紙芝居サークルひだまりによる紙芝居コーナーなどに約600名の来場があり、保護犬保護猫への関心の高さをうかがい知ることができました。多くの方々のご協力ありがとうございました。



2019年に開催したねこまつりで家族になりましたアーシャ(旧名:アーサー)です。黒柴犬だったはずがすっかり茶柴犬に大変身!!目元の麻呂眉は健在です。

「知る・ふれあう 保護犬保護猫フェア」報告

〈日時〉10月29日(土) 午前10時～午後2時
〈会場〉清瀬市コミュニティプラザ
〈主催〉きよせふれあいまつり実行委員会
「福祉の輪が広がるまちに」をテーマに子どもから大人・高齢者まで、ボランティア・市民活動や社会福祉施設の取り組みを広く知っていただく場となりました。催しの中で行われたふれあいコンサートには清瀬中学校の筝曲部による演奏をはじめ、多数の小中学生、混声合唱団、高齢者施設入所者や障害通所施設の利用者が参加されました。コロナ禍ということで縮小した形でしたが、多世代交流と多様性のある催しとなり、大変盛り上がりました♪

